

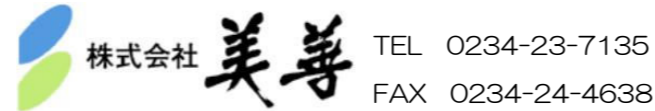
ご使用前に必ずお読みください。

株間除草機「あめんぼ号」(型式：SGL)

取扱説明書

この度は「あめんぼ号」をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

この製品の性能を十分に発揮させ、安全で快適な作業をしていただく為にも、ご使用前に「取扱説明書・組立説明書」等をよくお読みいただき、使い方をご確認の上、正しい取扱をしていただきますようお願い致します。



はじめに

本書は6条用(型式：SGL-6T)で説明させていただきます。なお、**8条用(型式：SGL-8T)**をご使用の場合は“専用追加部品”(別紙参照)がございます。本書と併せて参照いただけますよう、ご注意のほどよろしくお願い申し上げます。

組立要領説明書

※注意※ 別紙の走行部、除草部の各組立図・パーツ表と併せてご覧ください

1. 本体走行部 6 フレーム に 34 トリツケパイプ を取り付けてください。(図1)

2. 42 金具 に 51,58,60,62,66 の各固定金具 を取り付けてください。50 フロートA は本機中心に取り付けてください。(図2)

3. 本体走行部 6 フレーム に 14 ハンドルA を取り付けてください。(組立図参照)

4. 24 レバー、11 ピン は組立図中の拡大図(レバー、ピン組立図)にしたがって取り付けてください。

なお、24 レバーのボルトが 19 フランジナットの頭から出ないように取り付けてください。(図3)

5. 1 エンジンを 2 クラッチケースに取り付け、26 スロットルレバーを 15 ハンドルBに取り付けてください。

エンジンに付属してある 27 スロットルワイヤーはフレーム、ハンドルにそれぞれ 28 リピータイで固定してください。

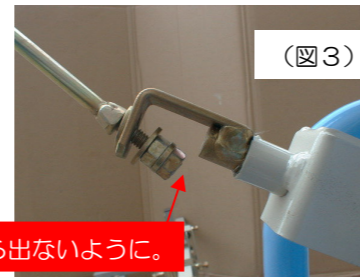
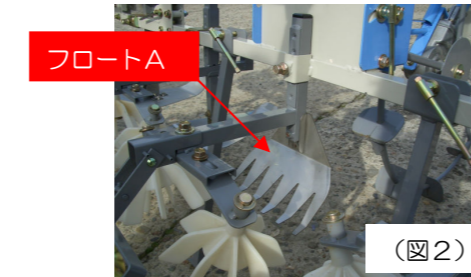
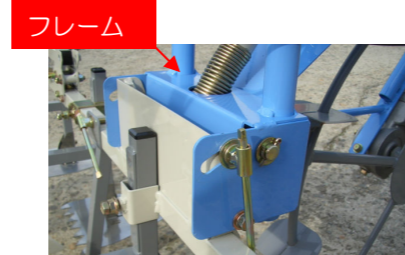
6. 前後、左右のバランスを保つために 29 ウェイトを走行部フレーム前方の台に取り付けてください。(図4)

7. 保管期間、運搬中には必ず 34 トリツケパイプに 49 スタンドを取り付けてください。53 転車破損の原因になります。

また、特に運搬中はロープ等で動かないように固定してください。なお、作業時はスタンドを本体から取り外してご使用ください。

8. その他は組立図・パーツ表をご参照ください。

9. 8条用(SGL-8N)、各種スパイラルローラー(オプション)は別紙をご参照ください。



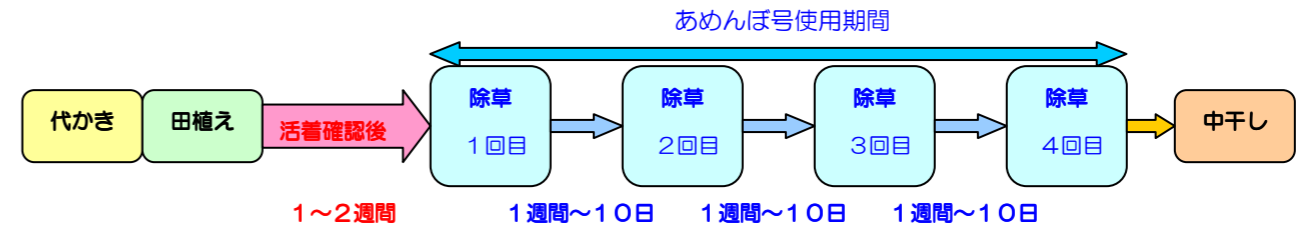
使用方法(作業編)

1. 組立要領説明書および組立図・パーツ表を参考に組立してください。

条間33センチの田植機をご使用されているお客さまは、機体中心より左右に金具を33センチに合わせてください。出荷時は30センチに設定しております。

2. 田植え前の代かきは丁寧に行うことをお勧めいたします。3~5cm程度のトロトロ層が必要で埋没抑草があり大変効果的です。

3. 作業時期



※注意※ 作業時は、田んぼの水の深さは2~3センチくらいのヒタヒタ状態まで落として作業してください。

4. 調整

1. フレームの角度調整穴で除草部全体の角度を調整できます。(図1)

2. 固定金具は、田んぼの深さに応じて取り付け高さを5段階に調整することができます。(図2)

3. フロートは、転車のささり具合によって高さを5段階に調整することができます。(図3)

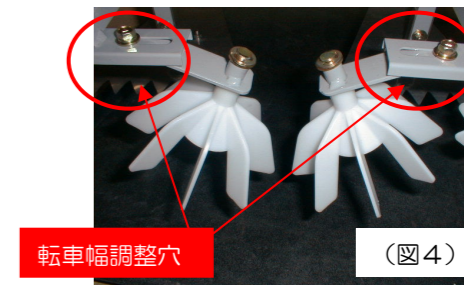
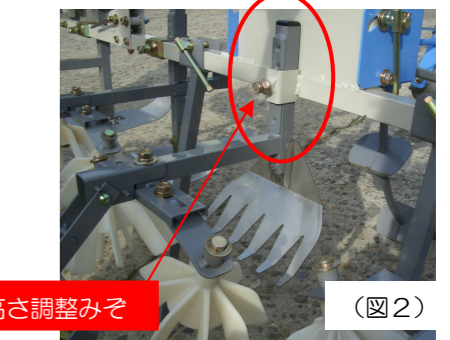
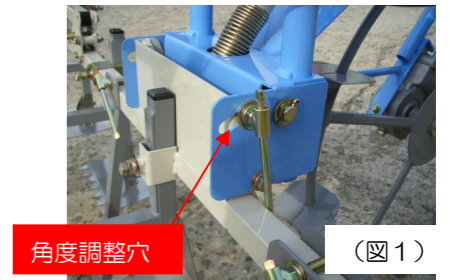
4. 1回目の作業の際、稲や土の状況等の具合がよくない場合、転車は必ず事により、稲にストレスが少なく作業を行うことができます。また、状況に応じてフロート裏のレーキカナグもはずしてください。

5. 田んぼの深さに応じて、分草板の高さを2段階に調整できます。

6. 転車の調整

1回目の除草以降、転車の間隔を稲の育成状況に応じて狭めてください。長孔で調整可能です。(図4)

より株間の除草に効果があります。



使用方法（巡回編）

- 24レバーを引いてハンドルを最下段まで下げてください。
- 15ハンドルBを両手で持ち上げてください。除草部全体が容易に持ち上がります。
- 26スロットルレバーで速度を調節しながら機体全体を自走させ、巡回してください。

※巡回を容易にする方法※

巡回の目印として棒等を立てると次の条への進入・ターンがスムーズにすることができます。

棒等はハンドルAに付属のマーカホルダーにセットできます。

- 除草部を田面にもどし、レバーを引いてハンドルを上げてください。ハンドル高さは3段階の調整が可能です。体勢にあったポジションで作業してください。



使用方法（メンテナンス編）

- 始動前は各部を点検して、ネジの緩みや欠品が無いか確かめてください。
- 作業終了後は、転車回転部にしっかり注油をしてください。次回作業時に回転がスムーズにすることができます。
- 燃料は自動車用ガソリンと2サイクル専用オイルの**混合燃料**を使用してください。ガソリンのみで運転すると、焼けつきの原因になりますのでご注意ください。
- エンジン取扱い及び仕様については、エンジンの取扱説明書をご参照ください。
- 減速機（ミッション）取り扱いのポイント
 - 減速機には、出荷時にギヤオイル140番が200cc（約牛乳ビン1本分）入れてあります。
 - ギヤオイルの交換は、ギヤケースの注油栓をはずして行います。給油口は排油口と兼ねています。排油は、給油口を下向きに、給油は上向きにして行ってください。
 - 最初、作業5時間くらいでオイル交換をしてください。以降は、20時間毎に行ってください。
 - 排油作業は、運転直後の減速機が暖かいうちに行うと楽にできます。

□長期保管される場合□

1. 各部のゆるみ、破損、オイル漏れの有無を調べて来期に備えてください。
2. 付属品の49スタンドを必ず取り付けて保管してください。53転車の破損の原因となります。
3. 機械の各部及びエンジンの汚れを清掃し、錆びの発生の恐れがある場合は、油のしみた布でよく清掃し保管してください。ただし、エンジンの水洗いはしないでください。故障の原因となります。
4. 燃料タンク及び気化器内の燃料を抜き取り、点火プラグ孔より潤滑油を少量注入してください。クランク軸を数回手回しして、点火プラグを取り付け、圧縮のあるところまで回して止めておいてください。
5. なるべく湿気やほこりの付着しないところへ保管するようにしてください。

「あめんぼ号」をうまく使って頂くためには

（SGL、SWM、SDW、SDF共通）

●代かきはいないに●

田面にワラや稲株、土塊等があまり出ないよう、代かきを2回程度丁寧に行うことをお勧めいたします。

●1回目の作業は活着を確認してから●

有機栽培の多くの場合、初期の育成が進まないため、十分に活着を確認した後に行ってください。

若い稲に出来るだけストレスをかけない為にも、1回目の除草は転車の間隔を最大限に広げて作業を行ってください。

2回目以降は稲の分けつ状況に応じて転車の間隔を徐々に狭めてご使用ください。株間の除草も可能になります。

なお、当機「あめんぼ号」は大きくなった草を取る機械ではございません。

●レーキの使用●

初期の段階で田面に稲株等がある場合または粘土質の場合、フロート（滑走板）裏面に付いているレーキに引っ掛かり土を押ししていく可能性があります。その場合はレーキをはずすことをお勧めいたします。

2回目以降の作業については田んぼの条件によりますが、レーキを取り付けた状態でご使用ください。

●条間間隔●

工場出荷時は条間30センチでセットしてあります。機体中心より左右に33センチの田植機をご使用の場合はお手数ですがお客様ご自身で組みなおしてください。

●水はヒタヒタ状態で●

深水で作業しますと特に初期は機体の波で稲を倒してしまう可能性があります。倒れた稲は土に埋没しないかぎりのちに起きあがりますので心配ありませんが、「あめんぼ号」の性能を最大限に発揮するためにも、水の量は2～3センチのヒタヒタ状態を保ってください。

●フロート（滑走板）の角度●

田んぼの深さ等によりフロートの角度の調整が必要な場合は田面に対して進行方向を浮き気味（約5度程度）に調整してください。

●除草作業の回数●

1回目の除草は田植え後1～2週間をめでに作業しますが、2回目以降は1週間～10日くらいの間隔で作業合計3～4回の作業を行ってください。中干し直前くらいまでの作業が可能ですので、草の状況に応じ回数を増減してください。

●両サイドの折りたたみ●

田植え時に隣接する条が狭くなったり、広くなったりしがちです。特に狭い場合は稲を傷めないように両サイドの転車およびフロート（滑走板）を折りたたむ事ができます。

●機体の運搬について●

軽トラック等で運搬される際は、パイプ関節部のロックボルトBを外しパイプを跳ね上げさせることで機体自体がコンパクトになり、狭いスペースでの移動・荷付け作業が楽にできます。（SGLのみ）

運搬中は落下・運搬台上で移動するおそれがあり大変危険です。機体にしっかりロープ等で固定してください。

●田んぼ以外での走行●

畦での長距離走行やアスファルト、コンクリートや砂利上などの固い地面での走行はご遠慮ください。

本機破損の原因になります。

●5条、7条用機種をお買い求めのお客様へ●

別紙説明書をご理解のうえ、作業を行ってください。偶数条の場合と条合わせの方法が異なります。